

6) 子どもを守る地域ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）

- 子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)等の有無については、死亡事例が発生した地域において、「あり」が心中以外の事例では33例（45.2%）、心中事例では23例（54.8%）であった。

表6-1 子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)等の有無

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	33	45.2%	23	54.8%
なし	40	54.8%	19	45.2%
計	73	100%	42	100%

- 子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)に参加している機関(複数回答)は、「保健所」、「医療機関」、「保育所」、「児童委員」、「警察」は参加率が高いが、「裁判所」、「弁護士」、「民間団体」の参加は低い傾向にあった。

表6-2 子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)に参加している機関(複数回答)

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	有効割合/29例	例数	有効割合/20例
児童相談所	25	86.2%	20	100%
市町村担当課	24	82.8%	19	95.0%
福祉事務所	13	44.8%	15	75.0%
児童家庭支援センター	6	20.7%	6	30.0%
保健所	16	55.2%	12	60.0%
保健センター	14	48.3%	13	65.0%
医療機関	17	58.6%	15	75.0%
保育所	18	62.1%	14	70.0%
幼稚園	13	44.8%	13	65.0%
小学校	15	51.7%	13	65.0%
中学校	13	44.8%	11	55.0%
高等学校	2	6.9%	-	-
児童委員	21	72.4%	14	70.0%
警察	22	75.9%	10	50.0%
裁判所	2	6.9%	1	5.0%
弁護士	8	27.6%	1	5.0%
民間団体	1	3.4%	2	10.0%
教育委員会	16	55.2%	6	30.0%
児童養護施設などの児童福祉施設	5	17.2%	-	-
社会福祉協議会	1	3.4%	1	5.0%
婦人相談所	1	3.4%	-	-
婦人保護施設	-	-	1	5.0%
その他	3	10.3%	1	5.0%

- 子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)の活用度は、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「よく活用した」が4例(18.2%)、「ある程度活用した」が12例(54.5%)、「あまり活用しなかった」が1例(4.5%)、「ほとんど活用しなかった」が5例(22.7%)であった。
 心中事例では、「よく活用した」が6例(54.5%)、「ある程度活用した」が5例(45.5%)であった。

表6-3 子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)の活用度

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
よく活用した	4	12.1%	18.2%	6	26.1%	54.5%
ある程度活用した	12	36.4%	54.5%	5	21.7%	45.5%
あまり活用しなかった	1	3.0%	4.5%	-	-	-
ほとんど活用しなかった	5	15.2%	22.7%	-	-	-
小計	22	66.7%	100%	11	47.8%	100%
不明	11	33.3%		12	52.2%	
計	33	100%		23	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- 本事例についての検討の有無は、有効割合で見ると、心中以外の事例では4例(13.8%)あったが、心中事例ではなかった。

表6-4 本事例についての検討の有無

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	構成割合	例数	構成割合	構成割合
あり	4	12.1%	13.8%	-	-	-
なし	25	75.8%	86.2%	20	87.0%	100%
小計	29	87.9%	100%	20	87.0%	100%
不明	4	12.1%		3	13.0%	
計	33	100%		23	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

7) 死亡後の対応

- **死亡情報の入手先**は、心中以外の事例では、「報道」が31例（42.5%）と最も多く、次いで「警察」が16例（21.9%）、「病院」が15例（20.5%）であった。
 心中事例では、31例（73.8%）が「報道」によって情報を入手していた。

表7-1 死亡情報の入手先

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
病院	15	20.5%	-	-
警察	16	21.9%	5	11.9%
報道	31	42.5%	31	73.8%
家族	1	1.4%	1	2.4%
警察と報道	-	-	1	2.4%
その他	8	11.0%	2	4.8%
不明	2	2.7%	2	4.8%
計	73	100%	42	100%

- **検証の実施**は、心中以外の事例では29例（39.7%）、心中事例では2例（4.8%）において検証が実施されていた。

表7-2 検証の実施

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
あり	29	39.7%	39.7%	2	4.8%	4.8%
なし	44	60.3%	60.3%	40	95.2%	95.2%
小計	73	100%	100%	42	100%	100%
不明	0	0.0%		0	0.0%	
計	73	100%		42	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- **検証チームの構成**は、心中以外の事例では、検証を実施した29例を分析すると、「児童相談所と都道府県・指定都市／児童相談所と市町村・都道府県」、「その他の機関単独」がそれぞれ6例（20.7%）、「関係した機関全て」が5例（17.2%）であった。

心中事例では、「市町村のみ」と「児童相談所と市町村・都道府県」がそれぞれ1例であった。

表7-3 検証チームの構成

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
児童相談所のみ	2	6.9%	-	-
市町村のみ	4	13.8%	1	50.0%
児童相談所と市町村	1	3.4%	-	-
児童相談所と都道府県・指定都市／児童相談所と市町村・都道府県(重複)	6	20.7%	-	-
児童相談所と市町村・都道府県	4	13.8%	1	50.0%
その他の機関単独	6	20.7%	-	-
関係した機関全て	5	17.2%	-	-
第三者機関	1	3.4%	-	-
計	29	100%	2	100%

- **検証チームへの第三者の参加**については、心中以外的事例では17例（58.6%）、心中事例では1例（50.0%）あり、検証を行った事例の半数以上に第三者の参加があった。

表7-4 検証チームへの第三者の参加

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	17	58.6%	1	50.0%
なし	12	41.4%	1	50.0%
計	29	100%	2	100%

○ 検証事例に関し、危機感を持つべきだったと思われる時期については、有効割合で見ると、心中以外の事例では、「死亡前1か月～3か月未満」が14例（37.8%）と最も多く、次いで「死亡前1週間未満」が7例（18.9%）、「死亡前3か月～半年未満」が6例（16.2%）であった。

同様に、心中事例では、「死亡前1週間未満」が4例（44.4%）と最も多く、「死亡前1週間～1か月未満」、「死亡前1か月～3か月未満」がそれぞれ2例（22.2%）であった。

表7-5 検証事例に関し、危機感を持つべきだったと思われる時期

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
死亡前1週間未満	7	9.6%	18.9%	4	9.5%	44.4%
死亡前1週間～1か月未満	5	6.8%	13.5%	2	4.8%	22.2%
死亡前1か月～3か月未満	14	19.2%	37.8%	2	4.8%	22.2%
死亡前3か月～半年未満	6	8.2%	16.2%	-	-	-
死亡前半年以上	5	6.8%	13.5%	1	2.4%	11.1%
小計	37	50.7%	100%	9	21.4%	100%
不明	36	49.3%		33	78.6%	
計	73	100%		42	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

8) 残されたきょうだいについて

- 死亡事例全体（115例）のうち、同居しているか否かに関わらず、きょうだいは、有効割合でみると、「きょうだいがいない事例（ひとりっ子）」が43例（38.1%）であった。「2人きょうだい」が48例（42.5%）、「3人きょうだい」が17例（15.0%）、「4人きょうだい」が4例（3.5%）、「5人きょうだい」が1例（0.9%）であった。

表8-1 きょうだいについて

区分	例数	構成割合	有効割合
なし(ひとりっ子)	43	37.4%	38.1%
1人(2人きょうだい)	48	41.7%	42.5%
2人(3人きょうだい)	17	14.8%	15.0%
3人(4人きょうだい)	4	3.5%	3.5%
4人(5人きょうだい)	1	0.9%	0.9%
小計	113	98.3%	100%
不明	2	1.7%	
計	115	100%	

- 残されたきょうだいの性別は、心中以外の事例は、男が29人（50.9%）、女が28人（49.1%）であった。
 心中事例では、男が7人（77.8%）、女が2人（22.2%）であった。

表8-2 残されたきょうだいの性別

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
男	29	50.9%	7	77.8%
女	28	49.1%	2	22.2%
計	57	100%	9	100%

- 残されたきょうだいの年齢は、心中以外の事例では、有効割合で見ると、2歳が7人（12.7%）6歳が6人（10.9%）、1歳、3歳、4歳、8歳、20歳以上がそれぞれ4人（7.3%）であった。

表8-3 残されたきょうだいの年齢

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
0歳	2	3.5%	3.6%	1	11.1%	12.5%
1歳	4	7.0%	7.3%	1	11.1%	12.5%
2歳	7	12.3%	12.7%	-	-	-
3歳	4	7.0%	7.3%	-	-	-
4歳	4	7.0%	7.3%	-	-	-
5歳	3	5.3%	5.5%	1	11.1%	12.5%
6歳	6	10.5%	10.9%	1	11.1%	12.5%
7歳	1	1.8%	1.8%	-	-	-
8歳	4	7.0%	7.3%	1	11.1%	12.5%
9歳	3	5.3%	5.5%	-	-	-
10歳	-	-	-	-	-	-
11歳	3	5.3%	5.5%	1	11.1%	12.5%
12歳	2	3.5%	3.6%	-	-	-
13歳	1	1.8%	1.8%	-	-	-
14歳	3	5.3%	5.5%	1	11.1%	12.5%
15歳	-	-	-	-	-	-
16歳	2	3.5%	3.6%	-	-	-
17歳	1	1.8%	1.8%	-	-	-
18歳	-	-	-	-	-	-
19歳	1	1.8%	1.8%	-	-	-
20歳以上	4	7.0%	7.3%	1	11.1%	12.5%
小計	55	96.5%	100%	8	88.9%	100%
不明	2	3.5%		1	11.1%	
計	57	100%		9	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- 本児死亡時の残されたきょうだいの同居については、有効割合で見ると、同居「あり」が、心中以外の事例では、39人（79.6%）、心中事例では、7人（77.8%）であった。

表8-4 本児死亡時の残されたきょうだいの同居

区分	心中以外			心中(未遂を含む)	
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合
あり	39	68.4%	79.6%	7	77.8%
なし	10	17.5%	20.4%	2	22.2%
小計	49	86.0%	100%	9	100%
不明	8	14.0%		-	-
計	57	100%		9	100%

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- 残されたきょうだいの養育・教育機関等の所属は、心中以外の事例では、有効割合で見ると、「なし」が15人（32.6%）、「小学校」が12人（26.1%）、「保育所」が10人（21.7%）であった。
 心中事例では、「なし」、「小学校」がそれぞれ3人（33.3%）であった。

表8-5 残されたきょうだいの養育・教育機関等の所属

区分	心中以外			心中(未遂を含む)	
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合
なし	15	26.3%	32.6%	3	33.3%
保育所	10	17.5%	21.7%	1	11.1%
幼稚園	1	1.8%	2.2%	1	11.1%
小学校	12	21.1%	26.1%	3	33.3%
中学校	2	3.5%	4.3%	1	11.1%
高等学校	2	3.5%	4.3%	-	-
大学	1	1.8%	2.2%	-	-
その他	3	5.3%	6.5%	-	-
小計	46	80.7%	100.0%	9	100%
不明	11	19.3%		-	-
計	57	100%		9	100%

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- 残されたきょうだいの虐待を受けた体験は、有効割合で見ると、体験「あり」が、心中以外の事例では、15例（88.2%）、心中事例では、2例（66.7%）であった。

表8-6 残されたきょうだいの虐待を受けた体験

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
あり	15	40.5%	88.2%	2	22.2%	66.7%
なし	2	5.4%	11.8%	1	11.1%	33.3%
小計	17	45.9%	100%	3	33.3%	100%
不明	20	54.1%		6	66.7%	
計	37	100%		9	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- 残されたきょうだいへの過去の児童相談所の関与は、有効割合で見ると、過去に児童相談所の関与「あり」は、心中以外の事例で10例（30.3%）であり、心中事例では1例（11.1%）であった。

表8-7 残されたきょうだいへの過去の児童相談所の関与

区分	心中以外			心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合
あり	10	27.0%	30.3%	1	11.1%
なし	23	62.2%	69.7%	8	88.9%
小計	33	89.2%	100%	9	100%
不明	4	10.8%		-	
計	37	100%		9	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- 残されたきょうだいへの過去の市町村の関与は、心中以外の事例では、有効割合で見ると、「あり」が11例（39.3%）、「なし」が17例（60.7%）であった。
 心中事例では、市町村の関与があった事例はなかった。

表8-8 残されたきょうだいへの過去の市町村の関与

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
あり	11	29.7%	39.3%	-	-	-
なし	17	45.9%	60.7%	7	77.8%	100%
小計	28	75.7%	100.0%	7	77.8%	100%
不明	9	24.3%		2	22.2%	
計	37	100%		9	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- 残されたきょうだいに対する本児死亡時の対応は、心中以外の事例では、「あり」が26例（70.3%）であった。また、「あり」と回答したうち、「安全確認」が22例（59.5%）、「面接」及び「親からの分離」がそれぞれ14例（37.8%）、「心理的ケア」が13例（35.1%）であった。
 心中事例では、「あり」が5例（55.6%）であった。また、「あり」と回答したうち、「安全確認」が4例（44.4%）、「面接」、「親からの分離」、「心理的ケア」がそれぞれ2例（22.2%）であった。

表8-9 残されたきょうだいに対する本児死亡時の対応(「あり」の場合は複数回答あり)

区分		心中以外		心中(未遂を含む)	
		例数	構成割合／37例	例数	構成割合／9例
なし		10	27.0%	3	33.3%
あり		26	70.3%	5	55.6%
対応内容 (複数回答)	安全確認	22	59.5%	4	44.4%
	面接	14	37.8%	2	22.2%
	親からの分離	14	37.8%	2	22.2%
	心理的ケア	13	35.1%	2	22.2%
不明		1	2.7%	1	11.1%

- 残されたきょうだいの居所は、有効割合で見ると、心中以外の事例は、「児童養護施設」が21人（45.7%）で最も多く、次いで「自宅」が14人（30.4%）であった。心中事例では、「自宅」が4人（66.7%）であった。

表8-10 残されたきょうだいの居所

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
自宅	14	24.6%	30.4%	4	44.4%	66.7%
祖父母宅	6	10.5%	13.0%	-	-	-
児童養護施設	21	36.8%	45.7%	1	11.1%	16.7%
母子生活支援施設	-	-	-	-	-	-
シェルター	-	-	-	-	-	-
その他	5	8.8%	10.9%	1	11.1%	16.7%
小計	46	80.7%	100%	6	66.7%	100%
不明	11	19.3%		3	33.3%	
計	57	100%		9	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

9) 3歳未満と3歳以上の比較

第4次報告と同様に、今回も心中以外の事例では、3歳未満の死亡が半数以上を占めていたため、心中以外の事例73例（78人）について3歳未満と3歳以上で比較分析を行った。なお、参考のために、平成15年7月から平成18年12月までのデータ（第1次報告から第4次報告のデータ）があるものについてはそのデータを、ないものについては平成18年1月から12月までのデータ（第4次報告のデータ）を添付した。

- **性別**は、3歳未満の事例では、男が37人（68.5%）、女が17人（31.5%）であるのに対し、3歳以上の事例では、男が13人（54.2%）、女が11人（45.8%）で、男児のほうが多かった。

表9-1 性別

区分	3歳未満		3歳以上	
	人数	構成割合	人数	構成割合
男	37	68.5%	13	54.2%
女	17	31.5%	11	45.8%
計	54	100%	24	100%

<参考>平成15年7月から平成18年12月までの集計結果

区分	3歳未満		3歳以上	
	人数	構成割合	人数	構成割合
男	46	40.4%	40	54.1%
女	67	58.8%	33	44.6%
不明	1	0.9%	1	1.4%
計	114	100%	74	100%

注) 年齢が不明である4名を除く。区分の「不明」は性別が不明の事例である。

- **主たる虐待の種類**は、3歳未満の事例では、「身体的虐待」が35人（64.8%）、「ネグレクト」が19人（35.2%）であった。3歳以上の事例では、「身体的虐待」が17人（70.8%）、「ネグレクト」が7人（29.2%）であった。

表9-2-1 主たる虐待の種類

区分	3歳未満		3歳以上	
	人数	構成割合	人数	構成割合
身体的虐待	35	64.8%	17	70.8%
ネグレクト	19	35.2%	7	29.2%
計	54	100%	24	100%

<参考>平成15年7月から平成18年12月までの集計結果

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	81	71.1%	73.0%	57	77.0%	79.2%
ネグレクト	30	26.3%	27.0%	14	18.9%	19.4%
その他	-	-	-	1	1.4%	1.4%
小計	111	97.4%	100%	72	97.3%	100%
不明	3	2.6%		2	2.7%	
計	114	100%		74	100%	

注) 年齢が不明である4名を除く。区分の「不明」は主たる虐待の種類が不明の事例である。

構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- **確認された虐待の種類**（重複あり）は、「身体的虐待」は、3歳未満が37人（68.5%）、3歳以上が19人（79.2%）であった。「ネグレクト」は、3歳未満が21人（38.9%）、3歳以上が12人（50.0%）であった。「心理的虐待」は、3歳未満が2人（3.7%）、3歳以上が4人（16.7%）であった。

表9-2-2 確認された虐待の種類(重複あり)

区分	3歳未満		3歳以上	
	人数	構成割合	人数	構成割合
身体的虐待	37	68.5%	19	79.2%
ネグレクト	21	38.9%	12	50.0%
心理的虐待	2	3.7%	4	16.7%
性的虐待	-	-	-	-

注) 本表の構成割合は、3歳未満では54人、3歳以上では24人に対する割合である。

本調査においては、「医療ネグレクト」は「ネグレクト」に含まれる。

<参考>平成18年1月から12月までの集計結果

区分	3歳未満		3歳以上	
	人数	構成割合	人数	構成割合
身体的虐待	19	59.4%	18	62.1%
ネグレクト	17	53.1%	18	62.1%
心理的虐待	1	3.1%	3	10.3%
性的虐待	-	-	-	-
医療ネグレクト	-	-	4	13.8%

注) 本表の構成割合は、3歳未満では32人、3歳以上では29人に対する割合である。

- 直接死因は、有効割合で見ると、3歳未満の事例では、「頸部絞扼以外による窒息」が13人（27.7%）と最も多く、次いで「頭部外傷」が10人（21.3%）であった。3歳以上の事例では、「頭部外傷」が7人（30.4%）と最も多く、次いで「頸部絞扼による窒息」、「火災による熱傷・一酸化炭素中毒」がそれぞれ5人（21.7%）であった。

表9-3 直接死因

区分	3歳未満			3歳以上			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
頭部外傷	10	18.5%	21.3%	7	29.2%	30.4%	
腹部外傷	2	3.7%	4.3%	1	4.2%	4.3%	
外傷性ショック	2	3.7%	4.3%	-	-	-	
頸部絞扼による窒息	3	5.6%	6.4%	5	20.8%	21.7%	
頸部絞扼以外による窒息	13	24.1%	27.7%	1	4.2%	4.3%	
溺水	3	5.6%	6.4%	-	-	-	
熱傷	1	1.9%	2.1%	-	-	-	
車内放置による熱中症・脱水	2	3.7%	4.3%	-	-	-	
低栄養による衰弱	4	7.4%	8.5%	1	4.2%	4.3%	
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	4	7.4%	8.5%	5	20.8%	21.7%	
その他	3	5.6%	6.4%	3	12.5%	13.0%	
内訳(再掲)	高所から投げ落とす	1	1.9%	2.1%	-	-	-
	急性硬膜下血腫	-	-	-	1	4.2%	4.3%
	低酸素脳症(ロープが首に絡まったため)	-	-	-	1	4.2%	4.3%
	揺さぶられ症候群による頭蓋内出血	1	1.9%	2.1%	-	-	-
	低体温症	-	-	-	1	4.2%	4.3%
	トイレで出産後遺棄	1	1.9%	2.1%	-	-	-
小計	47	87.0%	100%	23	95.8%	100%	
不明	7	13.0%		1	4.2%		
計	54	100%		24	100%		

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

<参考>平成18年1月から12月までの集計結果

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	8	25.0%	30.8%	4	13.8%	13.8%
腹部外傷	-	-	-	1	3.4%	3.4%
外傷性ショック	-	-	-	1	3.4%	3.4%
頸部絞扼による窒息	2	6.3%	7.7%	5	17.2%	17.2%
頸部絞扼以外による窒息	4	12.5%	15.4%	2	6.9%	6.9%
溺水	3	9.4%	11.5%	2	6.9%	6.9%
熱傷	1	3.1%	3.8%	-	-	-
車内放置による熱中症・脱水	2	6.3%	7.7%	-	-	-
低栄養による衰弱	-	-	-	3	10.3%	10.3%
凍死	1	3.1%	3.8%	-	-	-
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	3	9.4%	11.5%	8	27.6%	27.6%
病死	1	3.1%	3.8%	1	3.4%	3.4%
その他	1	3.1%	3.8%	2	6.9%	6.9%
内訳(再掲)	結腸壊死	-	-	1	3.4%	3.4%
	頸部外傷	1	3.1%	3.8%	-	-
	頭部顔面を含む全身打撲	-	-	-	1	3.4%
小計	26	81.3%	100%	29	100%	100%
不明	6	18.8%		-	-	
計	32	100%		29	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- 主たる加害者は、「実母」が3歳未満の事例で30人（55.6%）、3歳以上の事例で8人（33.3%）と最も多かった。「実父」は、3歳未満で13人（24.1%）、3歳以上の事例で3人（12.5%）であった。次いで「実父母」は、3歳未満で7人（13.0%）、3歳以上の事例で3人（12.5%）であった。

表9-4 主たる加害者(一人のみ)

区分	3歳未満		3歳以上		
	人数	構成割合	人数	構成割合	
実母	30	55.6%	8	33.3%	
実父	13	24.1%	3	12.5%	
継父	-	-	2	8.3%	
養父	-	-	1	4.2%	
母の交際相手	3	5.6%	5	20.8%	
母方祖母	1	1.9%	-	-	
実母と	実父	7	13.0%	3	12.5%
	実母の交際相手	-	-	1	4.2%
	実母の交際相手とその友人	-	-	1	4.2%
計	54	100%	24	100%	

<参考>平成15年7月から平成18年12月までの集計結果

区分	3歳未満			3歳以上			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
実母	64	56.1%	57.7%	39	52.7%	54.2%	
実父	28	24.6%	25.2%	6	8.1%	8.3%	
継母	-	-	-	3	4.1%	4.2%	
継父	-	-	-	2	2.7%	2.8%	
養母	-	-	-	1	1.4%	1.4%	
養父	1	0.9%	0.9%	-	-	-	
母の交際相手	7	6.1%	6.3%	5	6.8%	6.9%	
母方祖母	1	0.9%	0.9%	1	1.4%	1.4%	
母方祖父	-	-	-	-	-	-	
父方祖母	-	-	-	-	-	-	
父方祖父	-	-	-	-	-	-	
父の交際相手	-	-	-	-	-	-	
実母と	実父	5	4.4%	4.5%	4	5.4%	5.6%
	実母の交際相手	-	-	-	4	5.4%	5.6%
	養父	1	0.9%	0.9%	1	1.4%	1.4%
	その他	1	0.9%	0.9%	1	1.4%	1.4%
	実母の交際相手とその友人	-	-	-	-	-	-
その他	3	2.6%	2.7%	5	6.8%	6.9%	
小計	111	97.4%	100%	72	97.3%	100%	
不明	3	2.6%		2	2.7%		
計	114	100%		74	100%		

注) 年齢が不明である4名を除く。区分の「不明」は主たる加害者が不明の事例である。

構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- 加害の動機は、有効割合で見ると、3歳未満の事例では、「泣きやまないことにいらだったため」が11人（30.6%）と最も多く、次いで「保護を怠ったことによる死亡」が9人（25.0%）、「子どもの存在の拒否・否定」が6人（16.7%）であった。3歳以上の事例では、「しつけのつもり」が8人（44.4%）で最も多く、次いで「保護を怠ったことによる死亡」が4人（22.2%）、「精神症状による行為（妄想などによる）」が3人（16.7%）であった。

表9-5 加害の動機

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
しつけのつもり	1	1.9%	2.8%	8	33.3%	44.4%
子どもがなつかない	1	1.9%	2.8%	-	-	-
パートナーへの怒りを子どもに向ける	1	1.9%	2.8%	-	-	-
慢性の疾患や障害の苦しみから子どもを救おうという主観的意図	1	1.9%	2.8%	1	4.2%	5.6%
精神症状による行為（妄想などによる）	4	7.4%	11.1%	3	12.5%	16.7%
保護を怠ったことによる死亡	9	16.7%	25.0%	4	16.7%	22.2%
子どもの存在の拒否・否定	6	11.1%	16.7%	-	-	-
泣きやまないことにいらだったため	11	20.4%	30.6%	2	8.3%	11.1%
その他	2	3.7%	5.6%	-	-	-
小計	36	66.7%	100%	18	75.0%	100%
不明	18	33.3%		6	25.0%	
計	54	100%		24	100%	

<参考>平成18年1月から12月までの集計結果

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
しつけのつもり	2	6.3%	8.7%	5	17.2%	23.8%
子どもがなつかない	1	3.1%	4.3%	1	3.4%	4.8%
パートナーへの怒りを子どもに向ける	-	-	-	1	3.4%	4.8%
慢性の疾患や障害の苦しみから子どもを救おうという主観的意図	-	-	-	2	6.9%	9.5%
精神症状による行為（妄想などによる）	3	9.4%	13.0%	1	3.4%	4.8%
保護を怠ったことによる死亡	9	28.1%	39.1%	9	31.0%	42.9%
子どもの存在の拒否・否定	4	12.5%	17.4%	1	3.4%	4.8%
泣きやまないことにいらだったため	4	12.5%	17.4%	-	-	-
その他	-	-	-	1	3.4%	4.8%
小計	23	71.9%	100%	21	72.4%	100%
不明	9	28.1%		8	27.6%	
計	32	100%		29	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- **虐待通告**は、3歳未満の事例では7例（13.7%）あり、うち「児童相談所」が1例（2.0%）、「市町村」が5例（9.8%）であった。3歳以上の事例では8例（36.4%）あり、うち「児童相談所」が6例（27.3%）、「市町村」が2例（9.1%）であった。

表9-6 虐待通告の有無

区分	3歳未満		3歳以上		
	例数	構成割合	例数	構成割合	
あり	7	13.7%	8	36.4%	
内訳(再掲)	児童相談所	1	2.0%	6	27.3%
	市町村	5	9.8%	2	9.1%
	その他	1	2.0%	-	-
なし	44	86.3%	14	63.6%	
計	51	100%	22	100%	

<参考>平成18年1月から12月までの集計結果

区分	3歳未満			3歳以上			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
あり	4	12.5%	13.3%	6	20.7%	21.4%	
内訳(再掲)	児童相談所	2	6.3%	6.7%	5	17.2%	17.9%
	市町村	1	3.1%	3.3%	1	3.4%	3.6%
	その他	1	3.1%	3.3%	-	-	-
なし	26	81.3%	86.7%	22	75.9%	78.6%	
小計	30	93.8%	100%	28	96.6%	100%	
不明	2	6.3%		1	3.4%		
計	32	100%		29	100%		

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

第4次報告では、「例数」ではなく「人数」の集計結果である。

- **児童相談所の関与**は、3歳未満が7例（13.7%）、3歳以上が8例（36.4%）であった。一方、**市町村の関与**は、3歳未満は、有効割合でみると8例（17.0%）、3歳以上が7例（31.8%）であった。

表9-7 児童相談所の関与の有無

区分	3歳未満		3歳以上	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	7	13.7%	8	36.4%
なし	44	86.3%	14	63.6%
計	51	100%	22	100%

<参考>平成18年1月から12月までの集計結果

区分	3歳未満		3歳以上	
	人数	構成割合	人数	構成割合
あり	5	15.6%	8	27.6%
なし	27	84.4%	21	72.4%
計	32	100%	29	100%

注) 第4次報告では、「例数」ではなく「人数」の集計結果である。

表9-8 市町村の関与の有無

区分	3歳未満			3歳以上	
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合
あり	8	15.7%	17.0%	7	31.8%
なし	39	76.5%	83.0%	15	68.2%
小計	47	92.2%	100%	22	100%
不明	4	7.8%		-	-
計	51	100%		22	100%

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

<参考>平成18年1月から12月までの集計結果

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
あり	4	12.5%	14.3%	6	20.7%	21.4%
なし	24	75.0%	85.7%	22	75.9%	78.6%
小計	28	87.5%	100%	28	96.6%	100%
不明	4	12.5%		1	3.4%	
計	32	100%		29	100%	

注) 第4次報告では、「例数」ではなく「人数」の集計結果である。構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- 虐待の認識の有無にかかわらず、児童相談所を含む関係機関の関与があったか否かを有効割合でみると、3歳未満では28例（73.7%）で、3歳以上では15例（83.3%）で関与があった。一方で、3歳未満では10例（26.3%）、3歳以上では3例（16.7%）について全く関与がなかった。

表9-9 児童相談所を含む関係機関の関与の状況

区分	3歳未満			3歳以上		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
いずれかの関与あり	28	54.9%	73.7%	15	68.2%	83.3%
全く関与なし	10	19.6%	26.3%	3	13.6%	16.7%
小計	38	74.5%	100%	18	81.8%	100%
不明	13	25.5%		4	18.2%	
計	51	100%		22	100%	

<参考>平成18年1月から12月までの集計結果

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
いずれかの関与あり	21	65.6%	77.8%	27	93.1%	100%
全く関与なし	6	18.8%	22.2%	-	-	-
小計	27	84.4%	100%	27	93.1%	100%
不明	5	15.6%		2	6.9%	
計	32	100%		29	100%	

注) 第4次報告では、「例数」ではなく「人数」の集計結果である。構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- 死亡後に残されたきょうだいへの対応があったのは、3歳未満で18例（69.2%）、3歳以上で8例（72.7%）となっていた。

表9-10 死亡後に残されたきょうだいへの対応

区分	3歳未満		3歳以上	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	18	69.2%	8	72.7%
なし	7	26.9%	3	27.3%
不明	1	3.8%	-	-
計	26	100%	11	100%

<参考>平成18年1月から12月までの集計結果

区分	3歳未満		3歳以上	
	人数	構成割合	人数	構成割合
あり	12	100%	10	83.3%
なし	-	-	2	16.7%
計	12	100%	12	100%

注) 第4次報告では、「例数」ではなく「人数」の集計結果である。

- 残されたきょうだいに対する対応の内容(重複あり)をみると、3歳未満では「安全確認」が15例（83.3%）、「面接」10例（55.6%）、「親からの分離」9例（50.0%）、「心理的ケア」5例（27.8%）であった。一方、3歳以上では、「安全確認」は7例（87.5%）、「面接」4例（50.0%）、「親からの分離」5例（62.5%）で、「心理的ケア」は8例（100%）と全ての事例に実施されていた。

表9-11 残されたきょうだいに対する対応の内容(重複あり)

区分	3歳未満		3歳以上	
	例数	構成割合	例数	構成割合
安全確認	15	83.3%	7	87.5%
面接	10	55.6%	4	50.0%
親からの分離	9	50.0%	5	62.5%
心理的ケア	5	27.8%	8	100%

注) 本表における構成割合は、3歳未満は残されたきょうだいへの対応があった18例に対する割合、

3歳以上は残されたきょうだいへの対応があった8例に対する割合である。

<参考>平成18年1月から12月までの集計結果

区分	3歳未満		3歳以上	
	人数	構成割合	人数	構成割合
安全確認	10	83.3%	10	100%
面接	9	75.0%	7	70.0%
親からの分離	7	58.3%	6	60.0%
心理的ケア	7	58.3%	6	60.0%

注) 本表における構成割合は、3歳未満は残されたきょうだいへの対応があった12人に対する割合、

3歳以上は残されたきょうだいへの対応があった10人に対する割合である。

第4次報告では、「例数」ではなく「人数」の集計結果である。

10) 0歳児の死亡について

ここでは、0歳児の死亡事例の実態を明らかにするため、0歳児の事例42例（46人）について検討する。

- 0歳児の死亡事例は、心中以外の事例では36例（37人）で、心中事例では6例（9人）であった。0歳児を月齢別でみると、心中以外の事例は、0ヶ月が17人（45.9%）、1か月が1人（2.7%）、2か月が5人（13.5%）で、3か月未満が6割を占めていた。

表10-1 0歳児月齢別

年齢	平成18年1月から12月						平成19年1月から平成20年3月					
	心中以外			心中(未遂を含む)			心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合
0か月	9	45.0%	45.0%	-	-	-	17	45.9%	45.9%	1	11.1%	11.1%
1か月	-	-	-	1	14.3%	14.3%	1	2.7%	48.6%	2	22.2%	33.3%
2か月	2	10.0%	55.0%	-	-	-	5	13.5%	62.2%	-	-	-
3か月	-	-	-	1	14.3%	28.6%	3	8.1%	70.3%	1	11.1%	44.4%
4か月	1	5.0%	60.0%	2	28.6%	57.2%	1	2.7%	73.0%	1	11.1%	55.6%
5か月	-	-	-	-	-	-	4	10.8%	83.8%	-	-	-
6か月	1	5.0%	65.0%	-	-	-	1	2.7%	86.5%	-	-	-
7か月	-	-	-	-	-	-	2	5.4%	91.9%	1	11.1%	66.7%
8か月	1	5.0%	70.0%	1	14.3%	71.5%	-	-	-	1	11.1%	77.8%
9か月	2	10.0%	80.0%	1	14.3%	85.7%	2	5.4%	97.3%	1	11.1%	88.9%
10か月	1	5.0%	85.0%	-	-	-	1	2.7%	100%	-	-	-
11か月	-	-	-	1	14.3%	100%	-	-	-	1	11.1%	100.0%
月齢不明	3	15.0%	100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	20	100%		7	100%		37	100%		9	100%	

注) 構成割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。また、構成割合がそれぞれ累積構成割合と合わない場合がある。

<参考>平成15年7月から平成18年12月までの集計結果

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合
0か月	27	36.5%	36.5%	1	7.1%	7.1%
1か月	4	5.4%	41.9%	2	14.3%	21.4%
2か月	10	13.5%	55.4%	0	0%	21.4%
3か月	4	5.4%	60.8%	2	14.3%	35.7%
4か月	7	9.5%	70.3%	2	14.3%	50.0%
5か月	2	2.7%	73.0%	1	7.1%	57.1%
6か月	5	6.8%	79.7%	0	0%	57.1%
7か月	2	2.7%	82.4%	0	0%	57.1%
8か月	2	2.7%	85.1%	1	7.1%	64.2%
9か月	2	2.7%	87.9%	1	7.1%	71.4%
10か月	5	6.8%	94.6%	1	7.1%	78.5%
11か月	1	1.4%	96.0%	3	21.4%	100%
月齢不明	3	4.1%	100%	-	-	
計	74	100%		14	100%	

注) 構成割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。また、構成割合がそれぞれ累積構成割合と合わない場合がある。

○ **加害者**は、心中以外の事例では、「実母」が20例(55.6%)と最も多く、次いで「実父」が10例(27.8%)、「実父母」が5例(13.9%)であった。

心中事例では、全て「実母」による加害であった。

表10-2 加害者

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
実母	20	55.6%	6	100%
実父	10	27.8%	-	-
母方祖母	1	2.8%	-	-
実母と実父	5	13.9%	-	-
計	36	100%	6	100%

<参考>平成15年7月から平成18年12月までの集計結果

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
実母	47	63.5%	14	100%
実父	20	27.0%	-	-
母の交際相手	2	2.7%	-	-
実母と実父	3	4.1%	-	-
不明	2	2.7%	-	-
計	74	100%	14	100%

- 養育者の状況は、心中以外の事例では、有効割合で見ると、「実父母」が22例（75.9%）と最も多く、次いで、「一人親（未婚）」が6例（20.7%）であった。
 心中事例では、全て実の両親がそろっていた。

表10-3 養育者の状況

区分	心中以外			心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合
実父母	22	61.1%	75.9%	6	100%
一人親(離婚)	1	2.8%	3.4%	-	-
一人親(未婚)	6	16.7%	20.7%	-	-
小計	29	80.6%	100%	6	100%
不明	7	19.4%		-	-
計	36	100%		6	100%

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

<参考>平成18年1月から12月までの集計結果

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
実の両親がそろっている	8	44.4%	57.1%	2	28.6%	100%
一人親(離婚)	2	11.1%	14.3%	-	-	-
一人親(未婚)	3	16.7%	21.4%	-	-	-
内縁関係	1	5.6%	7.1%	-	-	-
小計	14	77.8%	100%	2	28.6%	100%
不明	4	22.2%		1	14.3%	
未記入	-	-		4	57.1%	
計	18	100%		7	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。

- **本児死亡時の実母・実父の年齢**は、心中以外の事例では、有効割合で見ると、実母の年齢のうち、「19歳以下」が8人(22.9%)と最も多く、次いで「20～24歳」が7人(20.0%)、「25～29歳」、「35～39歳」がそれぞれ6人(17.1%)であった。
 心中事例では、実母の年齢は、「25～29歳」が4人(66.7%)であった。

表10-4 本児死亡時の実母・実父の年齢

区分	心中以外							心中(未遂を含む)	
	実母			実父			母方祖母	実母	
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合		人数	構成割合
19歳以下	8	22.2%	22.9%	2	5.6%	8.3%	-	-	-
20～24歳	7	19.4%	20.0%	4	11.1%	16.7%	-	-	-
25～29歳	6	16.7%	17.1%	6	16.7%	25.0%	-	4	66.7%
30～34歳	5	13.9%	14.3%	5	13.9%	20.8%	-	1	16.7%
35～39歳	6	16.7%	17.1%	6	16.7%	25.0%	-	1	16.7%
40歳以上	3	8.3%	8.6%	1	2.8%	4.2%	1	-	-
小計	35	97.2%	100%	24	66.7%	100%	1	6	100%
不明	1	2.8%		12	33.3%		-	-	-
計	36	100%		36	100%		1	6	100%

<参考>平成18年1月から12月までの集計結果

区分	心中以外								心中(未遂を含む)		
	実母			実父			母方祖母	不明	実母		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合			人数	構成割合	有効割合
19歳以下	3	23.1%	25.0%	1	16.7%	16.7%	-	-	-	-	-
20～24歳	2	15.4%	16.7%	1	16.7%	16.7%	-	-	-	-	-
25～29歳	-	-	-	2	33.3%	33.3%	1	-	2	28.6%	50%
30～34歳	5	38.5%	41.7%	-	-	-	-	-	2	28.6%	50%
35～39歳	1	7.7%	8.3%	1	16.7%	16.7%	-	-	-	-	-
40歳以上	1	7.7%	8.3%	1	16.7%	16.7%	-	-	-	-	-
小計	12	92.3%	100%	6	100%	100%	1	-	4	57.1%	100%
不明	1	7.7%		-	-		-	1	3	42.9%	
計	13	100%		6	100%		1	1	7	100%	

注) 構成割合、有効割合は四捨五入で表示しているため、合計しても100%にならない場合がある。